

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	深浦町深浦地区地域再生委員会
代表者名	山本幸宏

再生委員会の 構成員	深浦漁業協同組合、深浦町、青森県西北地域農林水産部鰯ヶ沢水産事務所
オブザーバー	

※再生委員会規約及び推進体制の分かる資料を添付すること。

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	定置網漁業3名 沖合底びき網漁業2名、一本釣り漁業7名
-------------------	-----------------------------

※策定時点で対象となる漁業者数も記載すること。

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

青森県日本海側に位置する深浦町中央部の「深浦地区」は、世界自然遺産白神山地のミネラル豊富な海水に恵まれ、漁業が盛んな地域である。定置網漁業、沖合底曳網漁業、一本釣り漁業などが営まれており、四季を通じて漁獲される魚介類も豊富である。当漁協は、数ある漁業種類の中でも水揚げの5割超を占める定置網漁業に大きく依存しているが、温暖化による高水温、海流等の影響による魚類の回遊や回遊時期の変動による影響で定置網の漁獲量は年々減少している。沖合底曳漁業の漁獲量は安定しているが、燃油、資材類の高騰等で経営は厳しい状況にある。一本釣り漁業は、近年久六島近海でのマグロ漁に恵まれているが、今後開始されるマグロ未成魚漁獲総量規制により、操業形態の方向転換を迫られている。

(2) その他の関連する現状等

地域の主力産業である水産業を振興するため、町や観光協会等は、深浦産天然ワカメや深浦マグロなどの水産物を使用した商品開発（ツルツルワカメやマグステ丼など）を行うことで、街興し活動に取り組んでいる。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

漁協および漁業者は活力ある漁村にするため、旬の漁獲物の魚価向上による漁業所得の増加を目指し、以下の活動に取り組む。

- ①定置網漁業者は、漁協が策定する「活魚、活け締め、神経締めの方法に係るガイドライン」に従い、漁業者による神経締め出荷等を実施し、魚価の向上を図る。
- ②沖合底びき網漁業者は、活タコ、マダラの漁獲後の鮮度保持、品質管理に努め、魚価の向上を図る。
- ③一本釣り漁業者は、久六メバル（ウスメバル）の漁獲後の鮮度保持に努め、神経締め手法も導入し、魚価の向上を図る。
- ④全漁業者は、船底清掃や減速航行による燃油コストの削減を図る。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

組合の行使規則、県海面漁業調整規則の遵守、組合の資源管理計画による資源管理による資源保護に努めている。

※プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会指示等について記載する。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成26年度）

以降、以下の取組内容は、取組の進捗状況や得られた知見等を踏まえ、必要に応じて、見直すこととする。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>●定置網・沖合底曳き・一本釣り漁業者と深浦漁協は、鮮度保持方法を確立するための体制づくりに努める。</p> <p>①定置網漁業 漁協は、市場側からの要望を踏まえ、スズキ、ヒラマサなどを対象として、「活魚、活け締め、神経締め方法に係るガイドライン」を策定して講習会を開催し、漁業者は、それに参画して技術を修得し、魚体サイズなどの選別基準を設定の上、活魚、活け締め・神経締めに取り組む。また、活け締め・神経締めした水産物については、その後の魚体温度を一定温度となるよう下水を敷いた発泡箱への箱詰作業を迅速に行うことを徹底する。今後は市場の動向を見つつ、選別基準等を見直すことで出荷割合を順次増加させ、所得の向上を図る。</p> <p>②沖合底びき網漁業 漁業者は、市場側の要望を踏まえ、漁獲したマダラの鮮度保持・色揚げのため、漁獲後直ちに、海水氷と海水を1対3の割合で調製した海水を充填した魚倉に漬け込むことで魚体温度を一定温度に管理するとともに、その後の船上での選別、下水を敷いた発泡箱への箱詰作業を迅速に行うことを徹底する。また、タコ類も市場側の要望を踏まえ、1個体ずつ専用袋に入れ、個々が傷つけ合わないよう処置した上で活魚水槽で保管・出荷するべく、漁業者は、船上での作業ルールを定める。</p> <p>③一本釣り漁業 漁業者は、当海域で漁獲されるウスメバルを「久六島メバル」としてブランド化させるべく、漁獲後直ちに、海水氷と海水を1対3の割合で調製した海水を充填した魚倉に漬け込むことでメバルの色揚げや、魚体温度を一定温度に管理するほか、擦れで釣獲された傷物の除外選別の徹底を図ることで価格の向上を目指す。さらに一定以上サイズのウスメバルについては、神経締めを行うことで更なる差別化を図るべく、漁協の講習会に参加して技術の習得を図るとともに、船上での作業ルールの設定を行う。</p> <p>●販売促進活動 漁協及び漁業者は、漁獲物の販売促進活動計画を策定の上、これに基づき、町や観光協会が開催するイベントに積極的に参画するなどして、県外から世界遺産である白神産地観光に訪れる観光客に対し、試食や直接販売により、上記①から③の取組で漁獲された魚介類の品質の良さの宣伝に努め、販路拡大するための体制づくりに努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁船船底清掃、減速航行による燃油コスト縮減に努め、定置網漁業では基準年の7%を、沖合底びき網漁業では基準年の11%、一本釣り漁業では基準年の17%をそれぞれ削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業、省燃油活動推進事業</p>

2年目（平成27年度）

	<p>●定置網・沖合底曳き・一本釣り漁業者と深浦漁協は、以下の収入向上の取組により、定置網漁業にあっては基準年から0.5%、沖合底びき網漁業にあっては0.9%、一本釣り漁業にあっては0.6%の所得向上を図る。</p> <p>なお、漁協は、出荷時に以下の取組について随時確認し、必要に応じ漁業者を指導する。</p> <p>①定置網漁業 漁業者は、漁協が策定した「活魚、活け締め、神経締め方法に係るのガイドライン」を遵守し、魚体サイズを選別し、スズキ、ヒラマサなどの活魚、活け締め・神経締めによる出荷割合を増加させ、所得を向上させる。また、</p>
--	--

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>出荷時には、魚体温度を一定に保つため、下氷の箱詰作業を迅速に行う。</p> <p>②沖合底びき網漁業 漁業者は、市場側の要望を踏まえ、漁獲したマダラの鮮度保持・色揚げのため1対3の割合で調製した海水水氷に漁獲後直ちに漬け込み体温を下げるとともに、船上での選別、下氷の箱詰作業を行い出荷する量を増加させる。また、タコ類も市場側の要望を踏まえ、1個体ずつ専用袋に入れ、個々が傷つけ合わないよう処置した上で活魚水槽で保管・出荷する量を増加させる。</p> <p>③一本釣り漁業 漁業者は、当海域で漁獲されるウスメバルを「久六島メバル」としてブランド化させるべく、漁獲後直ちに、海水氷と海水を1対3の割合で調製した海水を充填した魚倉に漬け込むことでメバルの色揚げや、魚体温度を一定温度に管理するほか、擦れで釣獲された傷物の除外選別の徹底を図り、価格の向上を目指す。さらに一定以上サイズのウスメバルについて、神経締めを行ってさらなる差別化を図る。</p> <p>●販売促進活動 漁協及び漁業者は、策定した漁獲物の販売促進活動計画に基づき、町や観光協会が開催するイベントに積極的に参画するなどして、県外から世界遺産である白神産地観光に訪れる観光客に対し、試食や直接販売により、上記①から③の取組で漁獲された魚介類の品質の良さの宣伝に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁船船底清掃、減速航行による燃油コスト削減に努め、定置網漁業では基準年の7%を、沖合底びき網漁業では基準年の11%、一本釣り漁業では基準年の17%をそれぞれ削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>もうかる漁業創設支援事業</p>

3年目（平成28年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>●定置網・沖合底曳き・一本釣り漁業者と深浦漁協は、以下の収入向上の取組により、定置網漁業にあつては基準年から3.8%、沖合底びき網漁業にあつては3.4%、一本釣り漁業にあつては3.3%の所得向上を図る。</p> <p>なお、漁協は、出荷時に以下の取組について随時確認し、必要に応じ漁業者を指導する。</p> <p>①定置網漁業 漁業者は、漁協が策定した「活魚、活け締め、神経締め方法に係るのガイドライン」を遵守し、魚体サイズを選別し、スズキ、ヒラマサなどの活魚、活け締め・神経締めによる出荷割合を増加させ、所得を向上させる。また、出荷時には、魚体温度を一定に保つため、下氷の箱詰作業を迅速に行う。</p> <p>②沖合底びき網漁業 漁業者は、市場側の要望を踏まえ、漁獲したマダラの鮮度保持・色揚げのため1対3の割合で調製した海水水氷に漁獲後直ちに漬け込み体温を下げるとともに、船上での選別、下氷の箱詰作業を行い出荷する量を増加させる。また、タコ類も市場側の要望を踏まえ、1個体ずつ専用袋に入れ、個々が傷つけ合わないよう処置した上で活魚水槽で保管・出荷する量を増加させる。</p> <p>③一本釣り漁業 漁業者は、当海域で漁獲されるウスメバルを「久六島メバル」としてブランド化させるべく、漁獲後直ちに、海水氷と海水を1対3の割合で調製した海水を充填した魚倉に漬け込むことでメバルの色揚げや、魚体温度を一定温度に管理するほか、擦れで釣獲された傷物の除外選別の徹底を図り、価格の向上を目指す。さらに一定以上サイズのウスメバルについて、神経締めを行ってさらなる差別化を図る。</p> <p>●販売促進活動 漁協及び漁業者は、策定した漁獲物の販売促進活動計画に基づき、町や観光協会が開催するイベントに積極的に参画するなどして、県外から世界遺産である白神産地観光に訪れる観光客に対し、試食や直接販売により、上記①から③の取組で漁獲された魚介類の品質の良さの宣伝に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁船船底清掃、減速航行による燃油コスト削減に努め、定置網漁業では基準年の7%を、沖合底びき網漁業では基準年の11%、一本釣り漁業では基準年の17%をそれぞれ削減する。</p>

活用する支援措置等	
-----------	--

4年目（平成29年度）

漁業収入向上のための取組	<p>●定置網・沖合底曳き・一本釣り漁業者と深浦漁協は、以下の収入向上の取組により、定置網漁業にあっては基準年から6.7%、沖合底びき網漁業にあっては5.8%、一本釣り漁業にあっては6.1%の所得向上を図る。</p> <p>なお、漁協は、出荷時に以下の取組について随時確認し、必要に応じ漁業者を指導する。</p> <p>①定置網漁業 漁業者は、漁協が策定した「活魚、活け締め、神経締め方法に係るのガイドライン」を遵守し、魚体サイズを選別し、スズキ、ヒラマサなどの活魚、活け締め・神経締めによる出荷割合を増加させ、所得を向上させる。また、出荷時には、魚体温度を一定に保つため、下水の箱詰作業を迅速に行う。</p> <p>②沖合底びき網漁業 漁業者は、市場側の要望を踏まえ、漁獲したマダラの鮮度保持・色揚げのため1対3の割合で調製した海水氷に漁獲後直ちに漬け込み体温を下げるとともに、船上での選別、下水の箱詰作業を行い出荷する量を増加させる。また、タコ類も市場側の要望を踏まえ、1個体ずつ専用袋に入れ、個々が傷つけ合わないよう処置した上で活魚水槽で保管・出荷する量を増加させる。</p> <p>③一本釣り漁業 漁業者は、当海域で漁獲されるウスメバルを「久六島メバル」としてブランド化させるべく、漁獲後直ちに、海水氷と海水を1対3の割合で調製した海水を充填した魚倉に漬け込むことでメバルの色揚げや、魚体温度を一定温度に管理するほか、擦れで釣獲された傷物の除外選別の徹底を図り、価格の向上を目指す。さらに一定以上サイズのウスメバルについて、神経締めを行ってさらなる差別化を図る。</p> <p>●販売促進活動 漁協及び漁業者は、策定した漁獲物の販売促進活動計画に基づき、町や観光協会が開催するイベントに積極的に参画するなどして、県外から世界遺産である白神産地観光に訪れる観光客に対し、試食や直接販売により、上記①から③の取組で漁獲された魚介類の品質の良さの宣伝に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	漁船船底清掃、減速航行による燃油コスト縮減に努め、定置網漁業では基準年の7%を、沖合底びき網漁業では基準年の11%、一本釣り漁業では基準年の17%をそれぞれ削減する。
活用する支援措置等	

5年目（平成30年度）

取組の最終年度であり、前年度に引き続き行いが、目標達成が確実なものとなるよう、プランの取組状況を確認しつつ、必要に応じて施策の見直しを行う。

	<p>●定置網・沖合底曳き・一本釣り漁業者と深浦漁協は、以下の収入向上の取組により、定置網漁業にあっては基準年から9.9%、沖合底びき網漁業にあっては8.3%、一本釣り漁業にあっては8.8%の所得向上を図る。</p> <p>なお、漁協は、出荷時に以下の取組について随時確認し、必要に応じ漁業者を指導する。</p> <p>①定置網漁業 漁業者は、漁協が策定した「活魚、活け締め、神経締め方法に係るのガイドライン」を遵守し、魚体サイズを選別し、スズキ、ヒラマサなどの活魚、活け締め・神経締めによる出荷割合を増加させ、所得を向上させる。また、出荷時には、魚体温度を一定に保つため、下水の箱詰作業を迅速に行う。</p>
--	---

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>②沖合底びき網漁業 漁業者は、市場側の要望を踏まえ、漁獲したマダラの鮮度保持・色揚げのため1対3の割合で調製した海水水氷に漁獲後直ちに漬け込み体温を下げるとともに、船上での選別、下水の箱詰作業を行い出荷する量を増加させる。また、タコ類も市場側の要望を踏まえ、1個体ずつ専用袋に入れ、個々が傷つけ合わないよう処置した上で活魚水槽で保管・出荷する量を増加させる。</p> <p>③一本釣り漁業 漁業者は、当海域で漁獲されるウスメバルを「久六島メバル」としてブランド化させるべく、漁獲後直ちに、海水氷と海水を1対3の割合で調製した海水を充填した魚倉に漬け込むことでメバルの色揚げや、魚体温度を一定温度に管理するほか、擦れで釣獲された傷物の除外選別の徹底を図り、価格の向上を目指す。さらに一定以上サイズのウスメバルについて、神経締めを行ってさらなる差別化を図る。</p> <p>●販売促進活動 漁協及び漁業者は、策定した漁獲物の販売促進活動計画に基づき、町や観光協会が開催するイベントに積極的に参画するなどして、県外から世界遺産である白神産地観光に訪れる観光客に対し、試食や直接販売により、上記①から③の取組で漁獲された魚介類の品質の良さの宣伝に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁船船底清掃、減速航行による燃油コスト縮減に努め、定置網漁業では基準年の7%を、沖合底びき網漁業では基準年の11%、一本釣り漁業では基準年の17%をそれぞれ削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	

※プランの実施期間が6年以上となる場合、記載欄は適宜増やすこと。
 ※「活用する支援措置等」欄に記載するのは国の支援措置に限らない。

(4) 関係機関との連携

県・町・近隣漁協とも連絡を密にし、白神山地地元の魚を印象付けたい。

4 目標

(1) 数値目標

定置網漁業	基準年	平成	年度	漁業所得	千円
	目標年	平成	年度	漁業所得	千円
沖合底びき網漁業	基準年	平成	年度	漁業所得	千円
	目標年	平成	年度	漁業所得	千円
一本釣り漁業	基準年	平成	年度	漁業所得	千円
	目標年	平成	年度	漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

※算出の根拠及びその方法等について詳細に記載し、必要があれば資料を添付すること。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
省燃油活動推進事業	消費燃料の削減（漁船船底洗浄及び減速航行）
もうかる漁業創設支援事業	沖合底びき網漁業の水産物販売促進

※具体的な事業名が記載できない場合は、「事業名」は「未定」とし、「事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性」のみ記載する。

※本欄の記載により、関連施策の実施を確約するものではない。